

## 診療科研修コース

### 診療科研修名【小児科コース】

#### 1. 診療科(専門領域)

小児科

#### 2. コースの概要

小児科プログラムを研修

#### 3. 取得資格

3年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医( )

小児科専門医試験受験資格

#### 4. 長期目標

- ・小児救急患者への対応法の習得(発熱、痙攣、頭痛、嘔吐、下痢、腹痛、呼吸困難、心肺停止など)
- ・乳幼児健診及び予防接種に関する知識、技術の習得
- ・新生児の入院・退院診察、各種新生児疾患の診断法、管理法の習得(呼吸管理、輸液管理、光線療法、交換輸血など)
- ・各種画像診断検査の実施方法と読影の習得
- ・臨床検査学の知識の習得
- ・保険診療に関する知識の習得
- ・日常診療での医療事故・院内感染などに対するリスクマネジメントに関する知識を深める
- ・研修期間中、3回以上の学会発表と1編以上の論文執筆

#### 5. 取得手技

- ・消化管造影、静脈性腎盂造影、膀胱造影の実施と読影技術の習得
- ・尿、便、末梢血、髄液、穿刺液などの一般検査の実施
- ・適切な検査の適応判断と検査結果を診療に応用
- ・超音波検査の実施

#### 6. 研修期間

3年間

希望あれば期間内に大阪大学小児科、または府立母子保健総合センターでの研修可能

#### 7. 募集人数

2名

## 8. 前年度診療科の実績と目標症例数

主要疾患	症例数（年間）	目標症例数（1年間）
呼吸器疾患	210	100
アレルギー疾患	80	40
消化器疾患	70	30
神経系疾患	30	15
新生児疾患	110	50

## 9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3、非常勤 1名

診療科研修の指導にあたる医師 3名

主として研修指導にあたる医師の氏名 橋爪 孝雄  
 " 診療科経験年数 37年

## 10. コンセプト

- ・小児の特性の理解を深め、多様化する患者・家族のニーズに対応できる能力を持った臨床医の育成
- ・患者・養育者との人間関係を確立し、発達歴、成長歴など小児科特有の病歴聴取法を習得し、相互の了解、患児のプライバシー配慮、病児の心理状況の把握、対処法を身につける
- ・医療現場における安全、院内感染対策に積極的に取り組む
- ・チーム医療の構成員としての役割を理解する

## 11. 一般目標

- ・小児救急患者への対応法の習得（発熱、痙攣、頭痛、嘔吐、下痢、腹痛、呼吸困難、心肺停止など）
- ・乳幼児健診及び予防接種に関する知識、技術の習得
- ・新生児の入院・退院診察、各種新生児疾患の診断法、管理法の習得（呼吸管理、輸液管理、光線療法、交換輸血など）
- ・各種画像診断検査の実施方法と読影の習得
- ・臨床検査学の知識の習得
- ・保険診療に関する知識の習得
- ・日常診療での医療事故・院内感染などに対するリスクマネジメントに関する知識を深める
- ・研修期間中、3回以上の学会発表と1編以上の論文執筆

## 12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 不可
施設外との交流研修	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 不可

## 研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談して決定

### 1 3 . 共通領域研修について

- ・医療安全研修会の開催（年4回）